

浦野英雄 うらの へいゆう の俳人。明治二十七年五月二十一日群馬縣碓氷郡豊岡村
生れ。昭和四十七年七月二十八日没（八四—九三）。號風泉。高崎中
學校在學中、國語教師村上成之（アララギ派の歌人にして俳人）から
俳句の手解きを受け、吉田縁菼、久保田虹泉等と同人誌『木乃伊』を
發刊。卒業後家業の農事の傍ら『早稲田文學』、『太陽』等の寄稿。
大正六年上京して雑誌『鳴竿』を創刊。村上鬼城、村上蝸魚（成之）、
内藤鶴雪等の寄稿を得た。昭和九年チチスに遣はれた建築家ブルーノ
・タウトの母國生活時の親友。戦後赤村吉太郎、山田勝次郎等と高崎
の自由大學を開設、自ら農村問題を講じた。後年は句作に専念。

著書『ブルーノ・タウトの回想』（昭和十五年十一月）二十八年長崎
書店（その他）可憐等が主。